

ホームと反対側のドアが開いた事象について（山陽本線 新下関駅）

2026年7月16日、山陽本線新下関駅でホームと反対側のドアが開いた事象が発生しました。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

1 発生日時

2026年7月16日（木）11時13分頃

2 発生場所

山陽本線 新下関駅構内

3 列車名

上り普通列車 2両編成（ワンマン列車）

下関駅（11時01分）発 小月駅（11時22分）着

ご乗車のお客様：約100名

4 概況

当該列車運転士は、新下関駅に到着後、ドア開閉スイッチを誤って取り扱ったため、ホームと反対側のドアが開扉しました。

※ただちに閉扉し、ホーム側のドアを「開」としました。

※お客様にお怪我はありませんでした。

5 列車影響

当該列車は、新下関駅を4分遅れて発車しました。

※4分の遅れのうち3分は、下関駅において接続待ちを行ったことによるもので、本事象に伴う遅れは1分です。

6 発生経緯

運転士がホームと反対側のドア開閉スイッチを扱ったためです。